

令和4年度オンライン学芸員専門研修実施のお知らせ

国立科学博物館では自然科学系博物館等に勤務する学芸員の方を対象に、一層の資質向上を目的として、オンラインによる研修を実施いたします。

1. 主催：独立行政法人国立科学博物館、全国科学博物館協議会
2. 期間：令和5年1月16日（月）、23日（月）、30日（月）（3日間）
3. 内容：国立科学博物館理工学研究部の研究活動やオンラインを含む学習支援活動等についてオンライン（Zoom）のライブ形式にて講義を行います。（詳細はP2）
4. 対象：
主に自然科学系博物館等において、自然科学系部門を担当する学芸員等。
（経験年数概ね10年以内の方を優先）
5. 募集：令和4年10月5日（水）から12月9日（金）まで
6. 人数：30名程度（定員の半数に達しない場合は中止することがあります）
7. 申込：
別紙申込書を国立科学博物館学習課学習支援担当宛にメール添付にてご送付ください。
令和4年12月16日（金）までにメールにて選考結果をお知らせします。
8. 修了証書：全課程を修了した方には修了証書を発行いたします。
9. 受講費：無料

※やむを得ない事情により、研修の日程や実施内容が変更になる可能性があります。

スケジュール

期日	時間	内容
令和5年 1月16日 (月)	13:30～14:00	オリエンテーション
	14:00～16:30	理工学研究部の概要と 天文分野の研究・学習支援活動
1月23日 (月)	14:00～16:30	化学分野の 研究・展示・学習支援活動
1月30日 (月)	14:00～16:30	地震学分野の 研究・展示・学習支援活動
	16:30～17:00	まとめ

※内容は変更になる可能性があります。

詳細

○理工学研究部の概要と天文分野の研究・学習支援活動

講師：理工学研究部 理化学グループ グループ長 洞口 俊博

内容：理工学研究部(およびその中の理化学グループ)の概要について、収蔵庫や収蔵資料の様子と合わせて紹介するとともに、天文分野で行っている研究活動や学習支援活動についてオンラインの事例を含めて紹介する。

○化学分野の研究・展示・学習支援活動

講師：理工学研究部 理化学グループ 研究員 林 峻

内容：化学分野の常設展示を簡単な解説とともに紹介し、来館者に伝えるべき内容やその展示手法について考える。2022年秋開催の特別展「毒」の展示制作や、実験教室などの学習支援活動について紹介する。

○地震学分野の研究・展示・学習支援活動

講師：理工学研究部 理化学グループ 研究主幹 室谷 智子

内容：地震や津波の発生メカニズムの地域特性について紹介し、科博の常設展示をポータブル化した「震源の位置を推定しよう」のデモを交えながら、緊急地震速報など日本の防災・減災対策のしくみや、それらを来館者にどう伝えるかについて考える。さらに、自然や災害に関する資料の保存や活用(展示例)について紹介する。

○問い合わせ先及び受講申込者調書等の提出先

国立科学博物館 事業推進部 学習課
学習支援担当 関戸・鈴木

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9187・9166 FAX:03-5814-9898

E-mail:jinzai@kahaku.go.jp